

歴史画像データベースソフトの紹介と活用

株式会社 新学社 事業開発営業部 原 泰則

hara@sing.co.jp

<http://www.sing.co.jp/>

キーワード：画像データベース，小学校，中学校，社会科，調べ学習

1. はじめに

株式会社 新学社では小・中学校の学校現場で長年ご愛顧いただいているワークブック・テスト・ドリル・資料集などの図書教材を発刊しております。この教材のノウハウをベースに開発されたのが、歴史画像データベースソフトの「ハイパーワイド版歴史資料集」です。

このソフトは発刊以来ご好評をいただいておりますパッケージ商品「ハイパーワイド版歴史資料集 for Windows」をもとに、主に学校内 LAN 向けにインターネットブラウザに対応したもので、800 点以上の写真とイラストを含む 400 点以上の画像を収録し、古代から現代まで全ての時代を網羅した非常に活用度の高いソフトです。

授業導入時での活用や調べ学習、授業のまとめとして、キーワードによるウェビングや教科書の注釈作りなど、学校現場であらゆる活用に広がりが持てます。

2. 内容の紹介

2. 1 オープニング

メニュー横にありますカメラマークを押すと、各時代の紹介やどんなことに注目して学習したら良いか等を音声により解説しています。ここでは、解説とともに本誌の中に出てくるその時代の画像（1 2～3 枚程度）をスライドショーでご覧いただくことができ、時代の学習の導入やまとめとしてご利用いただけます。（図 1）

2. 2 時代のボタンをクリックし、好きな時代へ

時代のボタンをクリックいただくとその時代の解説と、年表が現れます。「日本のできごと」と「日本の文化」が一目で比較できる構成になっています。また、「(世界のできごとへ)」をクリックいただくと、「日本のできごと」と「世界のできごと」も比較対照できるようになっています。（図 2）

年表の中の「色の違う文字」をクリックいただくとその項目に関連した資料に飛んでゆくことができます。

2. 3 資料の基本構成

本ソフトの基本構成は、左に画像、その下に画像の解説、右に今開いているページタイトルの解説となっています。また、画像の右上にあります虫眼鏡のボタンをクリックいただきますと、拡大した画像をご覧いただけます。画像には、必要に応じて画像の左上にボタンを配し、クリックいただくとさまざまに変化し、興味と関心をもつてご覧いただける構成となっています。

解説部分では、「色の違う文字」が、関連した資料に飛んでゆけるボタンになっています。このように関連した資料に自由に飛んでいって調べ学習をすすめ、理解を深めていただけるようになっています。

画像上にたくさんのボタンがあり、クリックすると画像がすみ分けられ、画像上に解説が表れたり、一部拡大したりなどを見ていただけるようになっています。

このように、さまざまな工夫がほどこされ、児童・生徒の調べ学習の道具として、また、先生方の提示用ツールとして幅広くご利用いただけます。（図 3）

2. 4 調べたい資料を探す

画面の左には、「年表」「索引 1」「索引 2」のボタンがあり、これらをクリックして調べたい資料を探してゆくことができます。（図 4）

また、Web サーバに CGI が使用できる場合は、全文検索が使用できます。この場合、探したい単語を入力すれば、関係のある画面のリストが表示されます。Web サーバに CGI がセットできない場合は、クライアント・マシンの側で全文検索を行う仕組みを用意してあるので、この場合も、ほぼ同様の検索機能を使用することができます。

2. 5 図版の利用と成果物の作成

全ての図版と全ての解説をワープロやパワーポイント等に張り込んで二次加工してご利用いただけます。子供たちの成果物作成や先生の教材作成ツールとしても活用いただけます。（図 5）

2. 6 インターネットとの連動

新学社では、「ハイパーワイド版歴史資料集」を通じて、トータル的にインターネットをご利用いただけるように、「ハイパーワイド版歴史資料集」の専用サイトを開設しています。このサイトでは、歴史の「関連リンク集」で、さらに調べ学習の広がりをもつことができます。また、先生方に活用いただけるように、ハイパーワイド版歴史資料集の「基本ワークシート」をダウンロードいただけるようになっています。(図6)



図1. オープニング



図2. 年表



図3. 本誌内容



図4. 索引



図5. データ集



図6. インターネット

3. 活用

栃木県公立小学校 6年 社会科

社会科の授業では、冊子の資料集がよく活用される。これはこれでよい点であるが、最大の問題点は、同時に同じ部分に着目し比較できないということである。全員に指示するには小さすぎ、個別に閲覧させると同じ箇所に着目させるのが難しい。その点「ハイパーワイド版歴史資料集」であれば、一斉に提示するならプロジェクターで大きく映し出し、個別に閲覧させるなら教師用PCの画面を転送し示せばよく、児童と同じ箇所に着目させるには、大変有効である。また、社会科においては、資料を読み取るだけでなく、それを活用したり、資料をもとに考えたりする活動が大切になってくる。この場合、プロジェクターで全員が集中して同じ画面を見ながら考えることができるということは、社会科の授業では大きな効果を発揮するはずだ。「ハイパーワイド版歴史資料集」は画像が大きく鮮明であることが非常に魅力的だ。資料集の画像よりも見やすく、その分集中して授業に取り組むことができる。索引や目次から瞬時に該当の資料を呼び出すことができるので、テンポよく資料を提示することができ、授業の流れに応じた展開が可能となる。もちろん、これらの機能は、冊子の資料集のように調べ学習においても有効に活用できる。内容についても、鮮明な図版に加えて、ふりがな付きで大変わかりやすい説明文が載っている。また、関係の深い資料へはリンクがあり、必要事項を短時間で効果的に検索することが可能だ。これを筋道に沿って読みながら資料を見ていくだけでも、予習やまとめに大いに効果が認められる。このような活動は、児童の興味・関心を高める。授業への意欲もより一層高まり、資料調べや社会科が好きになる児童も増えるだろう。

4. おわりに

今後も新学社といたしましては、教材メーカーとして、そのノウハウを生かし、学校現場でのPCの利活用ができるように、学校現場の視点で総合的にご提案できるデジタル教材を開発してまいります。